

湯田ダムだより

平成26年6月

北上川ダム統合管理事務所
湯田ダム管理支所

湯田ダムは今年50周年を迎えます！



湯田ダムクレストゲート 試験放流が実施されました

↓ 《1964年 竣工前に行われた
試験放流の状況》



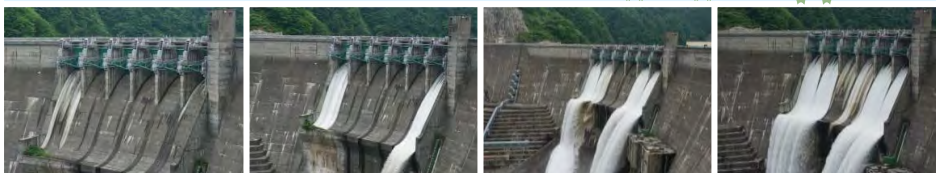
6月16日(月)、湯田ダムにてクレストゲートからの試験放流が実施されました。

この試験放流は、近年各地で記録的な豪雨等が発生している状況を踏まえ、計画規模以上の洪水が発生した場合に使用する非常用洪水吐(クレストゲート)から放流し、下流斜面や国道、ゲート設備に対する影響、操作手順の確認等を行うためのものです。

クレストゲートからの放流は、湯田ダム竣工前の1964年に試験放流をして以来、実に50年ぶりです。当日は、風も穏やかで、関係者や一般の見学者など約100人が見守る中、下流斜面や国道、ゲート等の機器にも異常は見られず、無事試験を終えることができました。

湯田ダム管理支所としては、実際にクレストゲートを使用する事が無いよう祈っておりますが、**想定外の大雨の際には下流域との連携が不可欠となります。** 今後は、訓練を重ねると共に、**和賀川を管理する岩手県、下流域の北上市等と連携を強めていきたい**と考えてます。

《クレストゲート6門開門状況》

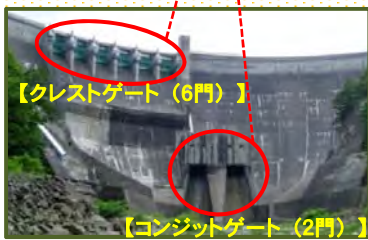
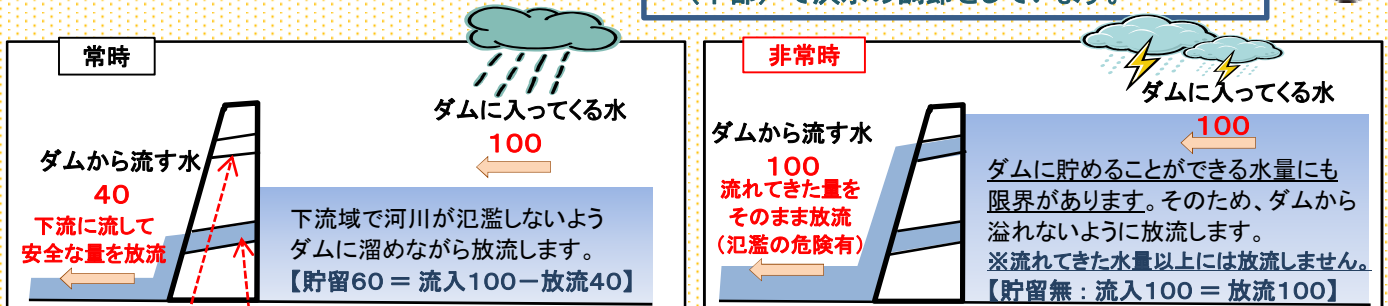


湯田ダム管理状況の紹介 part4 (洪水の調節について)



クレストゲートってどんな時に使うのかな？
どうして普段は使わないの？

クレストゲートは【非常用洪水吐き】といって非常時＝異常な雨によって計画よりも多くの水がダムへ流れ込んだ場合に使用します。通常ダムから放流する際はコンジットゲート（下部）で洪水の調節をしています。



このクレストゲートを湯田ダムが完成してから50年間使うことがなかったということは、計画規模以上の洪水がなかったということ、また、常に適正な水位を保っていたということにつながります。しかし今後どのような事態が起こるかは分かりません。常に非常事態を回避、対応できるよう、ダムでは気象情報や洪水予測などを行い、日々水位の監視や調節等を行っております。

錦秋湖 利用状況紹介



5月24日 錦秋湖湖水まつり
2300発の花火が打ち上げられ、夜空と湖面を綺麗に彩りました。併せて行われたボート遊覧調査も好評でした。

6月1日 県高総体ボート競技会場
昨年に続き、今年も3日間ボート競技会場として利用されました。開催前には、西和賀高校と共に安全点検パトロールを実施し、錦秋湖周辺の危険箇所等の確認を行いました。

湯田ダム 懐ペコ日記



西わらび

この季節の西和賀町の名物といえばそう！“西わらび”です。この地域で採れるわらびはあくが少なく独特の粘りと香りが特徴です。トロツと口当たりがいい西わらびはいくらでも食べられるくらい美味しいですよ☆

おいしいよ☆



西ワラビ君
西和賀町公認キャラクター
(西和賀町HPより)

編集後記

私もダムマニアに混じってクレスト放流を体感しました。静寂の中、サイレンが鳴り、ダムの最上部から水が流れる姿に言葉を失いました（佐）

発行

北上川ダム統管理事務所 湯田ダム管理支所

〒024-0341 和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15

TEL: 0197-74-2011 FAX: 0197-74-2013

ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

《2014》湯田ダム50周年